

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立毛呂山特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	グランドデザイン・中期ビジョンなどを踏まえ、学校として目指す方向が具体的に示されている。次のステージに向けて、重点目標を含めて目標体系を整理し、簡潔明瞭で学校関係者などが共有しやすい魅力ある学校像を検討していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。学校の置かれた状況などを広く把握した上で、中期的視点から検討・整理して、目指す学校像の実現に向けて目標の重点化・具体化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会が拡大企画委員会と学部・分掌を連携させて、学校自己評価システムを運営している。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるように整合性を持たせ、より重点化して具体性のあるものにしていただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状と課題に基づき、ユニバーサルデザインの視点に立った校内環境整備や地域と連携した清掃活動など、評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。評価指標については、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすいように、取組指標と成果指標をうまく組み合わせるなど分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、企画委員会・職員会議等において課題に関する教職員の共通理解を図っている。校長は組織力を高め、信頼される学校づくりに向けた情報発信、業務改善に向けた校務分掌の見直し、職場環境の改善等、課題解決に向けた取組を推進している。目標の達成に向けて更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	保護者と教職員のアンケートを同一の項目で実施し、両者の認識の違いを明確に把握して、その原因や背景を分析している。今年度は回答の選択肢を五択から四択にして一層差異が明らかになるよう工夫している。保護者アンケートの記述内容や学校関係者の意見などについても分析・考察し、その結果を次年度の課題・改善策に生かすなどして継続的に取り組んでいる。	
特記事項			